



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

上場取引所 東

コード番号 7976 URL <http://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 数原 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 長谷川 直人

TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年12月期第3四半期 | 38,550 | 10.4 | 4,623 | 141.4 | 4,656 | 100.9 | 2,657 | 89.9 |
| 21年12月期第3四半期 | 34,928 | — | 1,915 | — | 2,317 | — | 1,399 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年12月期第3四半期 | 86.54 | — |
| 21年12月期第3四半期 | 44.55 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年12月期第3四半期 | 62,630 | 44,107 | 69.5 | 1,444.47 |
| 21年12月期 | 61,590 | 43,479 | 69.8 | 1,393.59 |

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 43,556百万円 21年12月期 42,979百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年12月期 | — | 9.00 | — | 11.00 | 20.00 |
| 22年12月期 | — | 10.00 | — | | |
| 22年12月期 (予想) | | | | 10.00 | 20.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 51,000 | 5.6 | 4,600 | 44.8 | 5,000 | 31.8 | 3,200 | 35.9 | 104.69 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期3Q | 33,143,146株 | 21年12月期 | 33,143,146株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期3Q | 2,989,281株 | 21年12月期 | 2,302,013株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 22年12月期3Q | 30,705,648株 | 21年12月期3Q | 31,420,182株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）の我が国経済は、海外経済の回復を背景に企業収益に改善の兆しがみられたものの、急激な円高の進行や、引き続き厳しい状況にある雇用情勢により景気の先行きが非常に不透明な状況で推移しました。

当社グループの属する筆記具業界におきましても、リーマンショック後の世界的な在庫調整の反動から、一部の法人需要や輸出に明るさがみられましたが、個人消費は回復したとは言い切れず、またデフレ傾向も解消せず引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは「クセになるなめらかな書き味」で好評の油性ボールペン「JETSTREAM」や、「芯が回るシャープペンシル KURU TOGA」、「自分にあった機能とスタイルを選べる筆記具 STYLE-FIT」などのシリーズを中心に積極的に販売活動を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は385億50百万円（前年同期比10.4%増）となりました。また、営業利益は46億23百万円（前年同期比141.4%増）、経常利益は46億56百万円（前年同期比100.9%増）、四半期純利益は26億57百万円（前年同期比89.9%増）と増収増益を確保することができました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末において、総資産は626億30百万円となり、前連結会計年度末と比べ10億40百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加と有形固定資産の減少によるものです。負債は185億22百万円となり、前連結会計年度末と比べて4億11百万円増加しました。これは主として支払手形及び買掛金の増加によるものです。また、純資産は441億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億28百万円の増加となりました。これは、主に四半期純利益によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の状況は以下のとおりです。
＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動により得た資金は50億5百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益40億72百万円、減価償却費14億15百万円です。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動に使用した資金は9億49百万円となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出6億91百万円です。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動に使用した資金は17億89百万円となりました。主な内訳は、自己株式の取得による支出9億76百万円及び配当金の支払による支出6億45百万円です。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における資金は、前連結会計年度末に比べて20億8百万円増加し、152億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年5月27日に開示いたしました「平成22年12月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した予想値から変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|-------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,566 | 13,358 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,587 | 13,461 |
| たな卸資産 | 10,410 | 9,682 |
| その他 | 1,703 | 1,770 |
| 貸倒引当金 | △152 | △160 |
| 流動資産合計 | 41,114 | 38,112 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 12,690 | 13,809 |
| 無形固定資産 | 141 | 169 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,188 | 6,768 |
| その他 | 2,506 | 2,730 |
| 貸倒引当金 | △12 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 8,683 | 9,498 |
| 固定資産合計 | 21,515 | 23,477 |
| 資産合計 | 62,630 | 61,590 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|--------------|-------------------------------|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,666 | 7,173 |
| 短期借入金 | 1,525 | 1,693 |
| 未払法人税等 | 857 | 496 |
| 賞与引当金 | 903 | 332 |
| 返品引当金 | 63 | 57 |
| その他 | 3,092 | 3,881 |
| 流動負債合計 | 14,108 | 13,635 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 37 | 29 |
| 退職給付引当金 | 2,805 | 2,768 |
| 役員退職慰労引当金 | 619 | 613 |
| 負ののれん | 229 | 278 |
| その他 | 722 | 784 |
| 固定負債合計 | 4,414 | 4,475 |
| 負債合計 | 18,522 | 18,110 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,497 | 4,497 |
| 資本剰余金 | 3,588 | 3,582 |
| 利益剰余金 | 38,143 | 36,131 |
| 自己株式 | △2,971 | △2,020 |
| 株主資本合計 | 43,258 | 42,191 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,219 | 1,337 |
| 繰延ヘッジ損益 | 18 | △7 |
| 為替換算調整勘定 | △940 | △541 |
| 評価・換算差額等合計 | 297 | 788 |
| 少数株主持分 | 551 | 499 |
| 純資産合計 | 44,107 | 43,479 |
| 負債純資産合計 | 62,630 | 61,590 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 34,928 | 38,550 |
| 売上原価 | 20,389 | 20,810 |
| 売上総利益 | 14,539 | 17,739 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,623 | 13,116 |
| 営業利益 | 1,915 | 4,623 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 9 |
| 受取配当金 | 100 | 103 |
| 受取地代家賃 | 117 | 110 |
| 負ののれん償却額 | 61 | 49 |
| その他 | 229 | 99 |
| 営業外収益合計 | 516 | 372 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19 | 18 |
| 持分法による投資損失 | 0 | 1 |
| 為替差損 | — | 227 |
| シンジケートローン手数料 | 42 | 22 |
| その他 | 52 | 69 |
| 営業外費用合計 | 115 | 339 |
| 経常利益 | 2,317 | 4,656 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 10 |
| 貸倒引当金戻入額 | 1 | 16 |
| 投資有価証券売却益 | — | 16 |
| 連結子会社所有の親会社株式売却益 | — | 0 |
| 過年度租税公課 | — | 18 |
| 特別利益合計 | 1 | 62 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 18 | 70 |
| 減損損失 | — | 82 |
| 投資有価証券評価損 | — | 468 |
| 出資金評価損 | 11 | — |
| 過年度租税公課 | 82 | — |
| 役員退職慰労金 | 25 | 25 |
| 特別損失合計 | 136 | 646 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,182 | 4,072 |
| 法人税等 | 699 | 1,302 |
| 少数株主利益 | 83 | 112 |
| 四半期純利益 | 1,399 | 2,657 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,182 | 4,072 |
| 減価償却費 | 1,531 | 1,415 |
| 減損損失 | — | 82 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △6 | 6 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △146 | 38 |
| 前払年金費用の増減額 (△は増加) | 245 | 206 |
| 受取利息及び受取配当金 | △108 | △112 |
| 支払利息 | 19 | 18 |
| 為替差損益 (△は益) | △51 | 146 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 0 | 1 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △16 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 468 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 3,333 | △371 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 2,395 | △885 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △3,220 | 508 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | 400 | △9 |
| その他 | △364 | 316 |
| 小計 | 6,212 | 5,885 |
| 利息及び配当金の受取額 | 110 | 112 |
| 利息の支払額 | △17 | △18 |
| 法人税等の支払額 | △723 | △974 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,582 | 5,005 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △1,809 | △691 |
| 固定資産の売却による収入 | 0 | 48 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △36 | △102 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 28 |
| 貸付けによる支出 | △19 | △21 |
| 貸付金の回収による収入 | 21 | 15 |
| その他 | △115 | △225 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,957 | △949 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 16 | △172 |
| 長期借入れによる収入 | 4 | 30 |
| 長期借入金の返済による支出 | △26 | △16 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △976 |
| 自己株式の売却による収入 | — | 24 |
| 配当金の支払額 | △592 | △645 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △0 | △30 |
| その他 | 0 | △4 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △600 | △1,789 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3 | △258 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,028 | 2,008 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,587 | 13,268 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 12,615 | 15,277 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

筆記具及び筆記具周辺商品事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

（前第3四半期連結累計期間）（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|--------------|--------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 29,039 | 4,128 | 1,760 | 34,928 | — | 34,928 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3,842 | 2,325 | 0 | 6,168 | △6,168 | — |
| 計 | 32,881 | 6,454 | 1,760 | 41,096 | △6,168 | 34,928 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 993 | 630 | 9 | 1,633 | 282 | 1,915 |

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア……香港、台湾、他

(2) その他……英国、豪州、他

（当第3四半期連結累計期間）（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|--------------|--------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 31,789 | 4,541 | 2,219 | 38,550 | — | 38,550 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 5,027 | 3,713 | 0 | 8,740 | △8,740 | — |
| 計 | 36,816 | 8,255 | 2,219 | 47,291 | △8,740 | 38,550 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 3,621 | 1,056 | 116 | 4,794 | △171 | 4,623 |

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア……香港、台湾、他

(2) その他……英国、豪州、他

〔海外売上高〕

(前第3四半期連結累計期間) (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

| | | アメリカ | アジア | 欧州 | その他 | 計 |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| I 海外売上高 | (百万円) | 3,540 | 4,283 | 3,382 | 2,597 | 13,804 |
| II 連結売上高 | (百万円) | — | — | — | — | 34,928 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合 | (%) | 10.1 | 12.3 | 9.7 | 7.4 | 39.5 |

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アメリカ……………米国、他
- (2) アジア……………香港、台湾、他
- (3) 欧州……………英国、他
- (4) その他……………豪州、他

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(当第3四半期連結累計期間) (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

| | | アメリカ | アジア | 欧州 | その他 | 計 |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| I 海外売上高 | (百万円) | 5,359 | 5,169 | 3,920 | 2,622 | 17,073 |
| II 連結売上高 | (百万円) | — | — | — | — | 38,550 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合 | (%) | 13.9 | 13.4 | 10.2 | 6.8 | 44.3 |

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アメリカ……………米国、他
- (2) アジア……………香港、台湾、他
- (3) 欧州……………英国、他
- (4) その他……………豪州、他

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。